

## 「小樽市公共施設長寿命化計画（案）」に対するパブリックコメントの実施概要について

実施期間：令和2年12月22日（火）～令和3年1月20日（水）  
（計30日間）

- 1 意見等の提出者数 **42 人**
- 2 意見等の件数 **52 件**
- 3 上記2のうち、計画等の案を修正した件数 **0 件**
- 4 意見の内訳

意見の内容	ページ	意見番号	意見数
長寿命化計画（案）全般について	P 1	(No.1～No.4)	4 件
勤労女性センター及び勤労青少年ホームの 統合化について	P 2	(No.5)	1 件
生涯学習プラザの移転について		(No.6)	1 件
塩谷児童センターの移転について		(No.7)	6 件
塩谷サービスセンターの移転について		(No.8～No.10)	3 件
プール建設について	P 3	(No.11～No.22)	37 件
<b>合 計</b>			<b>52 件</b>

「小樽市公共施設長寿命化計画（案）」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

意見等の提出者数	42 人
意見等の件数	52 件
上記2のうち計画等の案を修正した件数	0 件

長寿命化計画（案）全般について



意見等の件数	4 件
上記2のうち計画等の案を修正した件数	0 件

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	各施設の耐震診断と設定耐用年数が、本当に額面通りの評価なのか心配だ。過去に建てられた建築物の構造データが改ざんされていた等のニュースを見る。工事中の改ざん、建築材メーカーの改ざんがないかチェックする工程も計画に加えた方が安心ではないか。	御指摘の構造データや材料メーカーのデータの改ざんについては、一地方公共団体でのチェックは困難であると考えられますが、本市においては、設計委託時における設計内容の確認や、施工時における工事監理及び検査を適切に行うことによって、建築物の品質を確保するように努めております。
2	建替え、改修、移転等の整備実施中も常に作業が適正に行われているかを市が把握できる仕組みも計画にほしいと思う。	本市においては、上記のような建築物の品質を確保するために必要な業務を通常業務の中で行ってまいりますので、今回の長寿命化計画に特に記載することは考えておりません。
3	長寿命化改修について、あらかじめ目標とする延命耐用年数の見積りを計画書に表示した方が、将来の見通しも良くなり、安心さが増すと思う。工事後、実際にどの程度延命できたのかを公表する仕組みもあると、利用する市民の理解が得られやすいのではないかと。	長寿命化改修は、計画書16ページの表4-1に記載しているとおり、本計画においては、鉄筋コンクリート造の場合、耐用年数を60年から80年に延ばすことを目標としております。改修後に実際にどの程度延命できたのかについて具体的な年数をお示しすることは難しいと考えておりますが、建物の寿命は構造上のものだけでなく、建物を使用していく上での維持管理の状況によっても変わってくることから、改修後は目標の耐用年数に達するよう適切な維持管理に努めてまいりたいと考えております。
4	計画が38年間と非常に長期に及ぶ。第1期の費用見通しの算出結果が記載されているが、各期間で財源は確保できるのか。同様に残りの期間も財源確保の見通しはあるのか。将来、どの程度市の財政の収支が推移するのかを予想し、各期間に必要な費用の確保がどの程度できるかを計画に示した方が、信頼性が増し、市民の理解と支持を得やすいのではないかと。	施設整備の財源は国の補助金や起債を活用し、毎年度の財政負担を考慮し更新費用の平準化を図っていきますが、計画期間38年間にわたる長期間の財政見通しを立てることは難しいことから、計画期間を4期に区分し、PDCAサイクルに基づき各期単位で財政状況等の変化に応じた計画の見直しを実施する際に、改めて財政見通しを立て直し、効果的に計画を推進してまいります。

「小樽市公共施設長寿命化計画（案）」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

施設名： 勤労女性センター	分	⇒	意見等の件数	1 件
			上記2のうち計画等の案を修正した件数	0 件

No.	意見等の概要	市の考え方等
5	勤労女性センターと勤労青少年ホームは、利用対象者が全く異なるので、統合化すべきではない。	老朽化が進む勤労女性センター及び勤労青少年ホームは、同一の学習・交流機能を有することから、効率的な市民サービスの提供を図るためにも、建物の更新費用の縮減の観点からも、今後の整備方針は「統合化」又は「複合化」とする予定ですが、利用者にとって支障なく利用できる施設運営を行ってまいります。

施設名： 生涯学習プラザ	分	⇒	意見等の件数	1 件
			上記2のうち計画等の案を修正した件数	0 件

No.	意見等の概要	市の考え方等
6	生涯学習プラザの機能全てを産業会館2階に移転するのではなく、「ふれあいホール」など一部機能は現在地で従来どおり使用できるようにしてほしい。	令和2年5月に策定した「公共施設再編計画」において、生涯学習プラザは利便性のよい市中心部の産業会館2階へ移転することとしております。また、生涯学習プラザが移転後、その跡を勤労女性センター内の「放課後児童クラブ」と総合福祉センター内の「とみおか児童館」の複合施設として整備することとしておりますが、「ふれあいホール」などの一部機能を現生涯学習プラザ内に残すことも含めて使用方法を今後検討してまいります。

施設名： 塩谷児童センター	分	⇒	意見等の件数	6 件
			上記2のうち計画等の案を修正した件数	0 件

No.	意見等の概要	市の考え方等
7	塩谷児童センターは、現在ある場所での使用を希望する。 <b>(6件)</b>	塩谷児童センター内にある「放課後児童クラブ」は、塩谷小学校から離れた場所にあり、児童が移動する際、安全性に課題があります。この課題を解決するために、「第1期」において放課後児童クラブを児童センターの機能とともに塩谷小学校内に「移転」し、「複合化」することとしております。 また、耐震基準を満たしている塩谷児童センター跡には塩谷サービスセンターを移転する予定ですが、このことにより利用者の安全性が確保でき、これまで児童が専用で使用していた集会室や体育室を広く地域住民が利用できるようなと考えております。

施設名： 塩谷サービスセンター	分	⇒	意見等の件数	3 件
			上記2のうち計画等の案を修正した件数	0 件

No.	意見等の概要	市の考え方等
8	塩谷児童センターと塩谷サービスセンターをそれぞれ移転させるのではなく、経費がかからないように塩谷児童センターは現状のまま残し、塩谷サービスセンターを塩谷小学校に移転させる方がよい。	令和2年5月に策定した「公共施設再編計画」において、老朽化が進んでいる塩谷サービスセンターは、耐震基準を満たしている塩谷児童センター跡に移転することとしておりますが、このことにより利用者の安全性が確保できることや、これまで児童が専用で使用していた集会室や体育室を広く地域住民が利用できるようなるものです。
9	塩谷児童センターは現状のまま残し、塩谷サービスセンターの機能を塩谷児童センターに移転し、複合化してほしい。	なお、塩谷児童センター内にある「放課後児童クラブ」は、塩谷小学校から離れた場所にあり、児童が移動する際、安全性に課題があります。この課題を解決するために、「第1期」において放課後児童クラブを児童センターの機能とともに塩谷小学校内に「移転」し、「複合化」することとしております。
10	塩谷サービスセンターは移転せず、現建物を改修し存続させてほしい。	

「小樽市公共施設長寿命化計画（案）」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

施設名： 新市民プール

分



意見等の件数	<b>37</b> 件
上記2のうち計画等の案を修正した件数	<b>0</b> 件

No.	意見等の概要	市の考え方等
11	新市民プールを早期に建設してほしい。 <b>(17件)</b>	<p>令和2年5月に策定した「公共施設再編計画」において、新市民プールは総合体育館と併設か単独での再整備を検討することとしております。その後、庁内検討や議会議論を重ねた結果、再整備に当たっては市民サービスにも大きく関わり、多額の費用もかかるため、規模・機能などの詳細についてさらに検討が必要であると判断し、令和3年度を目途に総合体育館の長寿命化計画を策定することとなりましたので、その計画策定の中でプールの整備方針も検討したいと考えております。</p>
12	公約に掲げているプール建設を早急に実施してほしい。 <b>(3件)</b>	
13	小樽市の人口規模の街に市民プールがないのはおかしい。プール建設を切望する。 <b>(2件)</b>	
14	障害者、子どもから高齢者まで、健康増進や交流の場となるため、室内水泳プールの建設を優先してほしい。 <b>(5件)</b>	
15	新プール建設を求める市民運動の高まりで、2015年に市議会でも全会一致で建設を求めたにもかかわらず、市民の声に応えようとしていない。建設するというなら、具体的に(計画に)示してほしい。	
16	直近に行われたパブリックコメントでも、室内水泳プールを早急に建ててほしいという意見が一番多数を占めた。市民は(駅前プール廃止から)15年も待っているのに、他の計画よりも最初に建設してほしい。 <b>(2件)</b>	
17	交通の便が良いところに、早く新プールを建設してほしい。 <b>(2件)</b>	
18	市営プールは総合体育館の近くにある方がよい。	
19	子ども達の水泳訓練を行う場は必要である。早急に新プールを建設してほしい。	
20	日本での習い事のトップは水泳だと思し、子ども達の未来のためにもプールは必要だ。	
21	小樽市は、市民がプールの建設を要望しているのに、どうして要望を受け入れる姿勢を取らないのか。もっと高齢者や病弱な人々に対し、あたたかい市政で取り組んでほしい。	
22	子ども達の通年の運動施設として、プールを併設した体育館が必要だ。	